

標記について下記のとおり報告します。

報告者 部会長 竹内 仁

日 時	2014 年 8 月 7 日 (木)
場 所	城陽市福祉センター
出席者	(有)ファンシシステム(1名)、(株)ナプラス (1名)、宇治支援学校(1名)、あっぷ(1名)、福祉課(1名)、はびねす(1名)、城陽作業所(1名)、野の花 (1名) みんななかま(2名)、 (参加者数 : 10名)
欠席者	庭一造園(1名)、就労促進授産支援ネットワーク (1名)、あんびしゃ(1名)、魁(1名)、
検討課題	1. 福祉情勢・就労に関する情報の共有、2. 各事業所で「働く」をどのように考えていくか 3. ステップアップの取り組みにむけて 4. 福祉事業所見学会にむけて 5. その他

【議事録】

3. ステップアップの取り組みにむけて

・インターンシップについて

「ナプラスへの見学」を終えて

- *利用者さんはやる気になっている。就労を目指している方はステップアップの第一歩としている。純粋に興味を持っている。
- *今後の体験に向けて就労希望の人だが、施設では他の作業のペースに流されてしまう傾向がある。経験が少ないので視野を広げたいと思う。
- *緊張してしまい、喋りにくい状況だった。
- *緊張する人に対して事前に対策出来ることはあるか。
- *緊張するタイプの人はどうしても仕方がないと思う。
- *わかりやすい説明だったし、流れとしては良かった。
- *質問してもらえるとありがたい。色々勉強になる。ステップアップのチャンスの場合となれば良いと思う。これを機に障がい者就労を勉強したい。取り組み内容を見直すことにもつながると思う。
- *別紙で用意させてもらったもので、ある程度の説明をするしかなく、あとは現場でその都度説明していく形になると思う。
- *作業している人は汗だくだった。それを見てもやってみたくて言っていた。利用者さんはすごいと思う。
- *面接をどこまでするのか。プロフィールなどは事前に渡しておいたりする。
- *特性などを伝えることも重要。
- *事前打ち合わせをしながら話していく方向でできたらと思う。
- *主旨にそって「目標」を設定して取り組むことが大事だと思う。それをその後の検証につなげていく。
- *意識を高めていくことが大事だと思う。見学した人は基本的に全員参加の意思があると考えて進めていく。

4. 福祉事業所見学会にむけて

- *甲賀バウムの方は、異物混入により工場停止になっているので今回は難しくなった。10月頃であれば見学可能かもしれないとのこと。
- *今回はガンバカンパニーと八身福祉会になる。
- *話を聞いて帰って事業所の取組みにしっかり反映させてほしいと思う。
- *部会でこれからの取組みを支えていきたいので、ご協力をお願いします。

5. その他

※京都府下の支援学校で作った作品の販売会を京都大丸で行うので、チラシとポスターをお渡しする。